

文中の写真を見て頂きたい。遠くに残雪の奥羽の山々を望み、背後に桜が咲き誇るその前に黒いごつごつとした岩三組が並べられている。岩は五角形に割られ、桜の花びらを模したものである。岩の天辺は綺麗に磨き搽まれ、何やら文字らしいものが刻まれている。

雪のかげのなかで木はだまりこくつて西山をみつめ青い宇宙のこつばをたくわえる花はいつくしみを川にとどめ弓ならして未来に咲き香る

斉藤彰吾さんの詩である。北国の厳しい冬を黙々と耐え、奥羽の山々を見つめ、夜は星々を通して宇宙の摂理を学び、この

世の邪気を払いつつ、桜花はその優しい目を北上川と和賀川に注ぎ、この地に明るく未来を約束していると読めた。

この碑は北上さくらの会発足を記念し一九八二年四月二六日に伊藤彬会長のもと多くの関係者が集まり建立されたものだ。伊藤彬さんは三代前の市長さんであった。現役時代にはふるさと会は並々ならぬご支援を受けた。その彼は今年の一月十三日に突然ご逝去された。前年の十二月八日には展勝地の桜と小金井の縁があり、名勝小金(サクラ)名勝指定百周年の記念式典に小金井の市民ホールの上で元気な姿を見せていただけた。信じがたかった。「巨星おつ」という言葉が悲しみと共に心に浮かんだ。北上市をこよなく愛し、桜守の会の会長として桜を



北上ふるさと会 会長 渡邊嘉二 郎

さくらの碑

発行/北上ふるさと会
所在地/〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-3 リッシュビル4階
賞ビル日都商事株式会社内
発行責任者/ 渡邊嘉二 郎
TEL: 03-3274-1501
FAX: 03-3274-1509
E-mail: jimukyoku@kitakami-hurusato.jp
URL: http://kitakami-hurusato.jp

令和7年（2025）9月
北上ふるさと会会報 第23号



関係者が集まり陣ヶ丘に建立された「さくらの碑」



さらに住みたくなる街

北上市長 **八重樫 浩文**

北上市ふるさと会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。お陰様で就任3年目を迎えました。任期の折り返しとなる令和7年度も公約に掲げた「住み心から愛でていた。私には彼の魂がこの三つ組の鼎立した石碑に鎮座し一年を通して「青い宇宙のこつばをたくわえ」ながら「花をいつくしみ」しかし凛としたまなざしで滔々と流れる北上川と展勝地の桜と市の全容とを見守っているように思える。それにしてもあの懐かしい笑顔を思い起すたびに寂しさは隠せない。

第33回「北上ふるさと会」の集い「11月8日(土)開催

集の会は首都圏在住で北上出身者の年に1度の交流の場です。北上市長をはじめとする地元の方々や、懐かしい仲間と語り合える大切な機会です。是非、ご参加いただけますようご案内申し上げます。詳しくは同封「集いの会開催案内」をご参照ください。

よい北上 住みたい北上」の現に向けて、活力あるまちづくりを更に進めて参りたいと考えております。

昨年度は、北上線全線開通100周年を迎えました。これを記念し、スタンラリーや小学生の乗車体験など、さまざまな事業が企画され、10月26日には北上駅、ほつとゆだ駅、横手駅で合同イベントが行われました。その他にも鬼の館開館30周年、アメリカ・コンコード市との姉妹都市提携50周年、飯豊小学校創立150周年など数多くの周年の年を迎え、記念事業等を通して、当市の長い歴史や伝統を改めて振り返り、次の世代に繋げる契機となりました。

今年度は、4月1日に市民武道館がオープンしました。老朽化した柔剣道場を取り壊し、1階に柔剣道場、2階に弓道場を

今後も様々な機会を活用して、当市の魅力を感じていただけるよう、取り組んで参ります。結びに、北上ふるさと会会員の皆様の御健勝での御活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続き当市への御理解、御協力をお願い申し上げます。

きたぶら 旬のイベントから観光プラン、グルメスポットまで様々な情報を提供

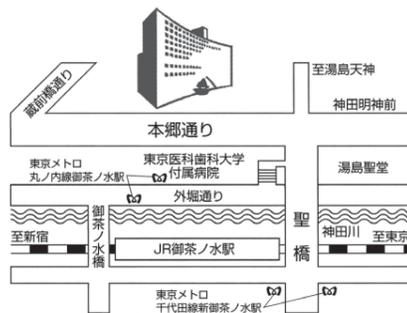
北上観光コンベンション協会公式ホームページ
<https://kitakami-kanko.jp>

- 観る・遊ぶ
- 泊まる
- 体験する
- 食べる
- イベント情報

北上観光コンベンション協会のHP「きたぶら」で、北上の様々な情報を検索出来ますので、次回帰省の折にお役立て下さい。何年も帰省していないという方も、北上の今を感じる事が出来ます。

北上駅東口の「観光案内所」と、さくらPORT・HOTEL1階協会事務所では、無料の冊子「きたぶら」を配布しています。

■「北上ふるさと会の集い」会場案内



HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
Gp 東京カーテンパレス
tel.03・3813・6237 (宴会予約直通)
tel.03・3813・6211 (代表)
〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5
<http://www.hotelgp-tokyo.com>

■JR/御茶ノ水駅聖橋口、東京メトロ丸の内線/御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅聖橋方面出口、聖橋を渡り徒歩5分
■東京駅・上野駅より車で10分

北上市役所のホームページをご覧いただけます

スマートフォンで標記のQRコードからアクセスすれば居ながら北上市のニュースにアクセスできます。またパソコンで「北上市役所」検索すると同じように北上市のホームページをご覧いただけます。



編集後記

▲北上ふるさと会の設立等に係った御二方が亡くなりました。それぞれのお立場で追悼の意を表していただきました。今年もふるさと北上の子供たちの活躍を中心に編集しました。いわさきレッスの世界大会進出。ミューズコーラス隊の紅白出場など。今年もうれしいニュースが聞けることを楽しみに。

ふるさと北上応援寄附
(ふるさと便PR事業)

担当課：産業雇用支援課

【問い合わせ先・申し込み先】
北上ふるさと納税サポートセンター
(ふるさと納税受付業務委託先) **0197-64-6611**

本市では、「ふるさと北上応援寄附」の拡大と特産品のPRのため、御寄附いただいた方に御礼の品を贈呈しています。農畜産物のほか、特産品、観光サービス、工業製品など1400点以上の御礼の品を御用意しております。令和6年度の寄附額は15億円(寄付件数:約71,000件)で、ティッシュ、トイレットペーパー等の日用品や、北上産のお米や野菜、最高級カシミアを使用したニット製品といったお礼の品を多くの方々にお選びいただきました。

昨年度から新たにポータルサイト「さとふる」「ふるなび」「Amazonふるさと納税」の導入も開始しました。より多くの方に当市や当市御礼の品を知っていただく環境が整い、これまでも増して、北上市の魅力強く発信して参りますので、引き続き応援の程よろしく願っています。

★おすすめの御礼の品(品名、事業者名、返礼品番号)

- ・特選どらやき 7個セットお菓子の菓だん A0132
- ・夏!採りたてアスパラガス約1.2kg 石井建一 C0511
- ・ナクレティッシュペーパー50箱 三菱王子紙販売株式会社 D0437
- ・ダクタイルパン26cm 岩手製鉄株式会社 J0149
- ・品種おまかせりんご約2kgセット 金成園 A0170
- ・季節のフラワーアレンジメント 花工房パルテール AC0185



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



さとふる



Amazon

ふるさと北上民話研究会「第7回いわて民話まつりin五所川原」報告

平成28年から開催の「いわて民話まつり」は7回目を迎え、これまでの岩手県内の開催から、初めて青森県五所川原に開催所を移して6月18日(水)に行われた。

津軽平野のと真ん中、五所川原中央公民館で7団体、12人の語り手で行われた。参加団体はふるさと北上民話研究会(首都圏)、滝沢昔語りの会(滝沢市)、いちのせき語り部の会(一関市)、くずまきかだる会(葛巻町)、雫石、語りこの会(雫石町)、むがしっこ語る会、ゆきんこ子(青森県五所川原市)そして今回初参加の羽後昔つこの会(秋田県羽後町)の7団体となり、今回から参加は東北3県となった。

会場の五所川原中央公民館の講堂には平日にもかかわらず200人強の聞き手が来てくれ



千田直さん



たちねぶた壁ポスター



民話まつりチラシ

た。また、オープニングセレモニーでは五所川原発祥の津軽三味線のド迫力な演奏が行われた。語りの発表前には壇上でマイク合わせや入退場の確認の打ち合わせなどの確認が入念に行われ、主催者の方も成功に向けて力が入っていた。

ふるさと北上民話研究会から一人参加の自分がトップバッター。五所川原の聞き手が「岩手のがどんな民話を聞かせてくれるんだ」という目つきで見られている緊張感の中、自分に「間をとれ、間をとってゆつくり話せ」と言い聞かせ「とら猫和尚さま」を語り務めを果たした安ど感がありました。最後の「どんだはれ」のあと、どつと疲れが出ました。銀河プラザでの発表とは全く違う大きなプレッシャーがありました。

他の語り手それぞれの活動

の場で積んできた民話を堂々と披露していた。ただ、民話をよく聞いてもらうための、標準語が多く含まれた語りになっていたような気がしました。我が団体の高橋道直さんのような「ネーティブな北上語(東京人が聞いてもさっぱり分からないのが基準)の民話を話す人が少なくなつたかのように思いました。自分のイメージで津軽地方

と言え東北でも相当に個性の強い方言の里と思っていました。が意外でした。ただ民話の締めくくりに語りは違いがはつきり認識できました。岩手(旧南部)は「ご存じ」どんだはれ、一関(旧伊達)「えんつこもんつこさーかえた」、羽後「とつぴんばら」のぶ「津軽」とつづばれ」でした。

今五所川原は7月の「津軽三味線全国大会」、8月は立役

大江戸探索会

当会は「北上から上京して東京に住んでいるけど、東京の事あんまり知らないな」と云う話しかから、東京を歩いてみようと言うことで発足、年に6回ほど首都圏のあちろちろを探索しています。現在、同探索会は菊池威会長の下、入念な下調べと詳細な資料で定評あり、毎回20〜40名の参加者があるふるさと会の人気イベントです。

令和6年9月28日(土)小原

寛氏の案内で西新井大師界限。西新井大師前駅に集合して西新井大師をお参り、鷲神社では宮司のリードで童謡をみんなで歌い、ご厚意で「開運御守」を全員に頂きました。

第一一四回

令和6年11月3日(日)小原磯則氏の案内で東久留米界限。東久留米駅に集合、晩秋の武蔵野の自然と江戸時代に造られた野火止用水等、歴史を探索しました。

令和7年1月26日(日)菊池威会長の案内で海老名界限。駅前の高さ約65m、三分の一スケール国分寺七重塔(市政20周年記念モノUMENT)に集合し、温故館で七重塔や金堂、講堂などの礎石跡などの歴史的遺物を見学しました。

第一一六回

令和7年3月22日(土)小原寛氏の案内で小菅〜綾瀬界限。小菅駅に集合、巨大な要塞、東京拘置所が印象的で、將軍家鷹狩り時に休憩した小菅御殿や古隅田川緑道を巡りました。令和

第一一五回

令和7年1月26日(日)菊池威会長の案内で海老名界限。駅



第115回海老名界限集合写真



第117回べらぼう江戸台東大河ドラマ館



第117回浅草浅草寺境内

高橋洋明さんを悼む 大江戸探索会 会長 菊池 威

高橋洋明さんは、令和6年12月25日、亡くなりました。

寺尾隆雄先生からの電話で洋明さんの訃報を知った私は、一瞬、「山男であんなに元気だった洋明さんに限ってという想いと間違いであって欲しい」という一縷の望みで耳を疑いましたが事実と知ってがつくり、言葉が出ませんでした。

高橋洋明さん(以下貴兄)と小生の出会いは、黒沢尻北高校に「山汽車」で通学する仲、横川目駅から乗車する小生が次の駅・藤根から乗車する列車内で、登下校の道すがら、はたまた、校内を行き交う中で知り合ったのですが、同じクラスになったこともクラブ活動も違ったので高校時代はあまり親交がありませんでした。

貴兄との縁が深まったのは、1978(昭和53)年、小生が国鉄の大学委託研究員として時間が比較的自由になった際、小生が「和賀町ふるさと会」に参加して以降だったと想います。すでに「ふるさと会の役員」だった貴兄等の薦めもあって和賀町ふるさと会役員になってからのことでした。

和賀町ふるさと会は、1991(平成3年)の北上市・和賀町・江釣村3市町村合併に伴い、3市町村のふるさと会も合流して新に「北上ふるさと会」が発足したことで北上ふるさと会役員として共に活動することで交流がより深まりました。

「大江戸探索会」は、江戸幕府発足400年の2003年2月、都区内を巡ろうという機運が熟し、小原正彦会長・園牧枝事務局長・高橋洋明案内人で発足、小生も一会員として参加したことで交流がより一層深まったのでした。

その後、貴兄は北上市内で一人暮らしの年配の母と同居することになって2012年に北上市に帰られてからは交流の頻度が以前に比べ少なくなりました。

「山男にして旅行好きの貴兄」は、海外旅行ではヒマラヤ山脈や南極にも足跡を残され、その貴兄の活動を賀状写真で知ること小生も年頭から元気澁刺でしたが、今春は手にすることが出来ず本当に寂しいです。

「人生100年時代の今日、81歳での旅立ち」はあまりにも早く、貴兄とはいろいろと話したいことが盛り沢山だったのに残念至極、寂びし過ぎます。

小生は、2012年、貴兄が築いてくださった「大江戸探索会」会長兼案内人となりました。会を仲間と共に「継続」することがご供養と想い元気な間は仲間と都内・周辺を探索したいと想っております。「ありがとうございました。安らかに眠りください」と御礼を述べてお別れの挨拶とさせていただきます。

武多(たちねぶた)まつり」を控え非常にエネルギーギツシユな町だと感じました。

「お陰様で今年も開催できた事に感謝申し上げます」はいわて民話まつり実行委員会の素直な言葉ですが段階の高齢化、後継者不足の中なんか深い言葉の

北上・西和賀観光物産展

令和7年1月30、31日いわて銀河プラザで北上・西和賀観光物産展が2日間開催されました。物産展は、北上・西和賀観光連絡協議会の主催により、毎年恒例のイベントとして開催されています。北上・西和賀地域の特産品が多数展示・販売されています。日本酒、リンゴ、餅

洋菓子などバラエティ豊かな商品が並び、試食コーナーも設けられていました。来場者へのアンケートも実施されており、今後の物産展運営に活かされることと期待されます。

物産展のもう一つの目玉は、民話研究会による口演です。高橋道直さん(びつくり)、園牧江さん(雷様の嫁子)、千田直さん(トラ猫和尚さま)、小野寺るり子さん(笠地藏)の4

様に思いました。

皮だけでなく果肉まで赤い「赤いりんご」(世界でここだけ)の生産地、太宰治、吉幾三、尊富士などの里として知られる五所川原は素晴らしい所でした。(記 千田 直)

名の語り手が北上弁の民話を披露し、会場は温かい雰囲気になりました。立ち見客を含め20名以上が熱心に聞き入り、民話の世界に浸りました。(記 菊池 潤)



銀河プラザ物産展



高橋道直さん

二子流東京鬼剣舞

「北上ふるさと会の集い」で毎年、**勇壮で華麗な舞を披露している「二子流東京鬼剣舞」。**
今回はその活動についてご紹介します。

「二子流東京鬼剣舞」の庭元（代表）小川修自氏は東京生まれで、高校時代に二子鬼剣舞との出会いを果たしました。高校入学後、教諭の進藤幸彦氏とともに何度も岩手県北上市の二子鬼剣舞を訪れ、その魅力に惹かれます。卒業後も修行を続け、北上みちのく芸能まつりの第30回大会では初めて飛び入り参加。この時、二子鬼剣舞初代庭元である及川充氏から「二子流」の認定を口頭で受ける。平成5年には「二子流の調べかくし」を拝受し、活動をさらに深めます。

平成18年には北上市二子町に自身の稽古場を完成させ、平成23年には二代目庭元及川榮悦氏から平成3年にさかのぼり二子流の「認定証」を改めていただき、「師匠認定証」も拝受。そして平成28年、及川榮悦氏より「庭元認定証」「秘伝書」「印可の証」を受け取り、念願だった北上市二子町に「二子流東京鬼剣舞供養碑」を建立。記念式典と祝賀会を挙行し、晴れて「二子流東京鬼剣舞」が誕生しました。

現在、約30名の会員が活動しており、年齢層は6歳から96歳と幅広く、女性が約7割を占めます。北上出身者は少数ですが、東京などで演舞を見て魅了された方々が多い。鬼剣舞には岩崎系と滑田系の2つの系統があり、団体ごとに所作や表現が異なります。二子流東京鬼剣舞は二子鬼剣舞の教えや伝統を守りながら新たな舞の魅力を追求しています。また、北上市内には13、県外にも複数の団体が活動しており、各地で多彩な舞が披露されています。

令和5年8月、二子流東京鬼剣舞は第62回北上みちのく芸能まつりで30回出場の功労賞を受賞。長年にわたる活動が評価され、メンバーにとって大きな節目となりました。今年の第64回北上みちのく芸能まつりでは、北上本町通り「結夏祭り」、市役所通り「群舞」及び諏訪神社奉納舞を披露されました。メンバーたちは日々稽古を重ね、鬼剣舞の聖地・北上市で舞を披露する喜びを何よりの幸福として活動を続けています。

若手メンバーの野村勇太氏（33歳）は、郷土芸能に触れたいと岩手県を訪れた際に鬼剣舞と出会い、「二子流東京鬼剣舞」の門をたたきました。以降、10年以上にわたり鬼剣舞の魅力に夢中になり、「お囃子の音を聞くと力が湧いてくる」と話します。現在、自信を持って踊れるのは4演目ほどで「北上みちのく芸能まつり」に参加し地元団体との交流を深めています。特に、鬼剣舞全団体による「群舞」では一体感と熱気を存分に体感し、「すべての団体が心をひとつにして踊る瞬間は特別な感動がある」と語ります。

（記 篠崎 清吉、取材 菊池 裕）



稽古風景



北上みちのく芸能まつりにて

令和6年11月9日（土）、「北上ふるさと会の集い」が東京ガーデンパレスで開催された。参加された方は及川北上副市長をはじめ来賓の21名、会員108名総勢129名の参加でした。11時30分から北上ふるさと会の総会。渡邊会長長の挨拶に始まり、令和5年度の事業報告、決算報告、令和6年度の事業計画、予算案について菊池幹事長から報告、原案通り承認された。

続いて情報交換会が行われ、北上市の齋藤企画部長から大学設置構想事業の策定について、北上ミューズコーラス隊の第91回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部で金賞受賞黒沢尻北小合唱部、上野中学吹奏楽部などの活躍、JR北上線百周年、二子、滑田各鬼剣舞が海外公演を実施などの説明が行われた。ふるさと北上民話研究会南館美達さん、小野寺るり子さんの口

演があり菊池勝北上市議会議長の乾杯の音頭で懇親会に移りました。北上ふるさと会で活動している「ふるさと北上民話研究会」、「大江戸探索会」、「北上産業人会」、「山歩きの会」の代表が活動内容、活動予定報告を行い参加を呼びかけた。そして北上の各団体から提供の賞品の抽選会。アトラクションとして恒例の二子流東京鬼剣舞の勇壮、華麗な演舞があり、多くの方が壇上に上がり「そんな街 北上」の作詞をした折笠名誉会長、それを歌唱した茜ちよみさんの指導



挨拶する渡邊会長



二子流東京鬼剣舞



輪になって踊る「北上 おでんせ」

昨年の北上ふるさと会の集い

演があり菊池勝北上市議会議長の乾杯の音頭で懇親会に移りました。北上ふるさと会で活動している「ふるさと北上民話研究会」、「大江戸探索会」、「北上産業人会」、「山歩きの会」の代表が活動内容、活動予定報告を行い参加を呼びかけた。そして北上の各団体から提供の賞品の抽選会。

で合唱。そして定番の「北上夜曲」の2曲を熱唱した。来賓の方々、ふるさと会役員、会員が会場いっぱい輪になって「北上 おでんせ」を踊った。中締めは折笠名誉会長の三本締めで参加者の健康を祈念し来年の再

会を約束して閉会した。昨年に引き続き今年も楽しかった。」と参加した会員方々が笑顔で帰って行った。「若手のふるさと会会員を増やす」などの命題に向い今後頑張りましょう。

山歩きの会

山歩きの会では、隔月で「関東周辺の低山をのんびりと歩く日帰りハイク」を実施しています。低山の山歩きには、ふるさと北上の山里を歩いているような雰囲気があり、癒されます。時間的に余裕を持った行程が中心です。是非、参加のご検討を頂きたく。

昨年秋以降では4回実施され、第29回11月27日はJR中央線猿橋駅から百蔵山（1003m）でした。山梨百名山の一つで頂上から南面が開け、富士山の他、周辺の山々まで大パノラマが満喫できました。第30回は本年2月4日、梅の咲き始めの頃、小田急線新松田駅からバスに乗り継ぎ、高松山（801m）でした。富士山は見えず、山頂では寒風に小雪も舞っていましたが、小田原の市街や伊豆半島、箱根の山並みが楽しめました。第31回は本年4月4日、京王線新高尾山口駅から高尾山とは反対の尾根の草戸山（364m）に登りました。東京都町田市の最高峰で八王子市と神奈川県相模市との三市境になります。標高が低いためか山頂には寂しい標識があるのみでした。高尾駅での反省会では桜が満開で綺麗でした。第32回は本年6月4日、梅雨間近の晴れ間で、JR熱海駅からバスで十国峠（766m）へ移動し、岩戸山（734m）に登りました。この日も富士山の姿は雲の中でしたが、山頂から熱海の市街や大島、初島、伊豆半島方向には大室山も見え、十国峠からは一丁ごとに地藏が置かれた“石仏の道”は春先の田舎道の様でのんびりと下りました。

今回は真夏を避け、残暑も収まった9月30日火曜日を予定しています。富士急線河口湖駅からバスで移動し、山中湖村の南側に位置する籠坂峠から、大洞山、三国山、明神山を巡り、最後は絶景スポットのパノラマ台を目指す、三国山ハイキングコースです。ご参加をお待ちしております。



第29回百蔵山



第32回岩戸山頂上



第32回十国峠

「北上夜曲」を大声で歌う

6月11日（水）午後、北上ふるさと会のメンバーが、高田馬場にある歌声喫茶「ともしび」に集結しました。渡邊会長夫妻はじめ、総勢20名でした。「ともしび」は北上で長く続いた「北上夜曲」全国大会の東京予選が行われたところ。東京代表が全国大会で優勝した話も披露されました。

「ともしび」では、「北上夜曲」をはじめ、昔懐かしい曲を大声で歌ってきました。

青春回帰のひとときです。皆大きな声で精いっぱい歌いました。みんなで歌ううたごえ「は、しばし時間を忘れさせます。次回も更なる発展を期待しましょう。（記・小原磯則）」



皆大きな口を開けて

北上市史民俗編の刊行

北上市は去る3月に北上市史の特別編として「民俗」を刊行しました。本書は、北上の長い歴史の中で伝承されてきた生業（なりわい）・信仰・日々の暮らしや行事など幅広く紹介しています。一見して感じるの、自分が上京した昭和40年代前半と大きく変わっていることです。自分が子供のころ残っていた風習が今は見られなくなっている。むかしの北上を知るいい資料であるとともに、知っている人がいる今だからできるといえるのです。

北上ふるさと会の役員でしらゆり大使だった加藤ゆりいさんも、執筆者の一人として活躍しています。担当したのは、人の一生一通過儀礼（第6章）の一部と、くらしで語られた言説一口承文芸（第10章）です。

前者では、人が生まれてから死ぬまでの風習が記録されており、それぞれの段階でいかに人間を大事にしてきたかを、後者では、昔話はかつては各家々に語り継がれたいわば生活の知恵であることを述べています。また、いくつかあるコラムのなかで「ふるさと会」を紹介しています。発足の経緯から、今後の在り方について書いており、みんなで考える必要があります。（記 小原磯則）



JR北上線 全線開通100周年

「和賀仙人と岩沢」

特別寄稿 北上ふるさと会 飛田悦男



戦後の和賀川工場航空写真：工場周辺に青白い煙が立ち込めていた。北上方面からも山並みの一角がこの煙で変色しているのが遠目にも確認できた

西へ向かう北上線は暫く平たんだが、岩沢駅へ向かう手前で和賀川に架かる鉄橋（第五和賀川橋梁）を渡ると急こう配となり、登りきると岩沢段丘の上に出る。重い貨物列車を牽引する重連の蒸気機関車D51が坂の途中で登り切れず、立ち往生している光景が懐かしい。段丘の上には田んぼが広がり、その西端に岩沢駅がある。どっしりとした美しい山容の羽山(599m)が見下ろし、岩沢小学校校歌では「羽山の峯はすぐそこに・・・」と歌われている。古くは旧盛岡藩で最も長く銅を産出した水沢鉱山が近くにあり、鉱山の町で、採掘は1600年代の江戸時代に始まり、明治時期には古川鉱業の経営で発展、往時は3000人の住人にいたが、昭和29年に閉山している。岩沢駅から北上線は比較的平坦に進み、岩沢トンネル(1100m、海拔190m)を抜けるとすぐに和賀仙人駅に到着する。両側から急に山々が間近に迫り、両側とも河岸段丘の高台で下には和賀川が蛇行している。仙人小学校校歌では「仙人の山々高きを競い和賀川深く谷をばえぐる・・・」と歌われている。その奥の西面には仙人山(882m)がそびえ、登山コースには藤原秀衡が先祖の霊を祀った久那斗神社奥宮や樹齢900年の仙人姥スギ

がある。北上線は和賀仙人駅を過ぎると山に沿って大きくカーブし、トンネルを抜けながら高度を上げて行き、奥羽山脈の難所、仙人峠へと向う。周辺には鉱山が多く、良質の鉄鉱石も採れて河岸段丘のある和賀仙人では1900年に製鉄が開始され、1907年に鉱山や製鉄所の物資を運ぶ和賀軽便鉄道（黒沢尻～仙人間）も開通、はじめは人力、次いで馬車、そして北上線全線開通へと繋ぎに行く。製鉄法も先進的で、1940年には和賀川の水をダムでせき止め、和賀川水力発電所で発電し、その電気で今注目の電炉が稼働、低炭鉄を製造していた。1964年湯田ダム完成で発電業務は和賀川発電所に継承、2000年頃に製鉄所も閉鎖され、今は往時の面影はない。

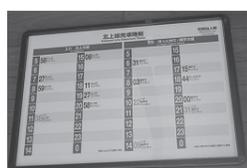


現在の岩沢駅



現在の和賀仙人駅

私たちが50～60年前、高校生として北上に通学していたころ北上方面行き1番列車は和賀仙人発6時35分、2番列車は8時15分発では高校の始業時間に間に合わなかった。藤根までは1番列車が北上まで行き、藤根まで折り返して7時30分発北上行きになった。藤根駅や江釣子駅を利用する連中がうらやましかった。ただ冬になると雪の影響でそれが無くなるのが多々あった。



現在の和賀仙人時刻表

(現況：和賀仙人駅から柳原駅は現在全て無人駅になっている。黒沢尻南高と北上農高の合併、黒工の移転で乗降客が大幅に減少、周りが田んぼだらけだった柳原駅周辺は今は住宅街。考えてみれば最近いつ北上線に乗っただろう)

「いわさきレッズ」、北上市岩崎からワールドシリーズ出場！

北上市いわさきレッズは今年3月に行われた第18回春季全日本小学生女子ソフトボール大会で3位入賞。ワールドシリーズへの出場意向を表明したチームの最上位になりワールドシリーズ初の日本代表になった。

フィリピンチームとアジア枠を競い、勝利し世界大会出場権獲得！

WSのチーム構成は10～12歳の12名～14名の規定。いわさきレッズには対象者が5名しかいなかったため東北地区から中学生9名を選考し14名のチーム構成を行った。

そして6月11日、12日に千葉県成田市のナスバスタジアムで行われたフィリピン代表チームとアジア太平洋中東選手権において代表枠を懸けて対戦。3回戦制で2連勝し、8月3日からアメリカノースカロライナ州で始まるソフトボールの世界大会「リトルリーグ・ソフトボール2025ワールドシリーズ(WS)」への出場権を獲得した。



日本代表（東北ソフトボールリーグはボールなどの企画の違い、チーム編成の戸惑いながらも花巻南高校との合同練習で守備の連携や打撃を磨いて世界大会に備えた。

残念ながらワールドシリーズは敗退！ 次回の出場を目指して

ソフトボールのメジャー部門ワールドシリーズにアジア太平洋代表として参加した東北ソフトボールリーグ（いわさきレッズを核としたチーム）は8月4日の初戦でカナダに6-1で快勝し、同部門日本勢初の1勝を挙げた。



8月7日の3回戦では地元ノースカロライナ州に2-3で惜敗し、8日の敗者復活戦に回ったが、敗者復活戦3回戦でインディアナ州に0-1で敗れ、敗退となった。

同リーグはスポーツマンシップ賞を受賞した。

姉妹都市・北上市へ行こう（親元を離れて学ぶ自然体験ツアー）北上市と姉妹都市流山市の交流事業

小学生は17名参加7月23日から親元を離れて自然体験ツアー

7月23日から2泊3日の日程で流山市の小学生19名と引率の方4名が夏油温泉スキー場を拠点とした合宿生活を体験しながら北上市を訪問しました。1日目は北上市立博物館を見学。昼食では北上コロッケを体験。そして鬼剣舞の里「鬼の館」では面塗りを体験したり世界いろんな国の鬼の面の展示を見学。2日目は夏油温泉スキー場でバギーやキャノンボール等を体験。みちのく文化村を見学。the campusBBQでは巻き割り、火おこし体験して飯盒炊飯。3日目は岩手ヤクルト工場の見学や展勝地ではイッツブテ公園inきたかみで遊んだり、みちのく民俗村では餅つきなどを体験。まさに北上市内にある自然をキャンプ体験を通じて満喫した。



イッツブテ公園inきたかみ



鬼の館

中学生は18名参加8月1日から災害復興のチカラ、古都見学ツアー

中学生は8月1日～2泊3日の予定で流山市中学生18名、北上市中学生18名と一緒に行動。1日目は入畑ダムでSUP体験。ホテル到着後1日より始まった北上みちのく芸術まつりパレードに参加しまつりを満喫。2日目は「命をつなぐ未来館・釜石鶴住居復興スタジアムを見学、さらに東日本震災津波伝承館の見学。2011年3.11後の復興状況を確認していただいた。夜は八重樫市長を表敬訪問。3日目はいわての世界文化遺産「中尊寺・毛越寺・平泉」の訪問。芭蕉館では盛り出し式わんこそばを堪能。一関から東北新幹線で帰京した。短い日程の中、色々なことを体験。また引率された方々お疲れさまでした。



みちのく芸術まつりに参加した流山の中学生



八重樫市長と記念写真

第91回NHK全国学校音楽コンクール（中学校の部）県勢初の金賞受賞そして紅白出場

北上ミュージズコーラス隊(上野、飯豊、南、東陵、北上北、北上中合同チーム)が初出場で最高位の金賞を獲得。そして、年末の紅白歌合戦に出演。

Nコン中学校の部で岩手県勢初めての金賞受賞

昨年10月14日、NHKホールで「第91回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部(以下Nコン)」が開かれ、1～3年生の23名で構成された東北ブロック代表北上ミュージズコーラス隊(上野、飯豊、南、東陵、北上北、北上中合同チーム)が課題曲「僕らは生きものだから」、自由曲「露営のともしび」を披露し金賞を受賞した。中学校の部で岩手県勢が頂点に立ったのは初めて。

指揮者無しでの金賞は全部門で史上初

指揮者無しでの金賞は全部門で史上初。合同参加校の金賞受賞も全部門で史上初とのこと。審査員より「指揮者がいないことで、皆さんのまなざしや気持ち客席に向かっていたことが高い効果を上げていた。」「創意工夫で素晴らしいコーラスをつくってましたね。声質もよくとても心を打つ演奏でした」と最高の評価を得た。参加した生徒の一人は「今も信じられなくてびっくりしている。私たちの活動が審査員に認められてうれしい。今まで練習してきた。」「同行した父兄は「まさかの結果に喜びと驚きでした」との感想。

紅白の大舞台は、緑のペンライトがまぶしかった

第91回Nコン、緑黄色社会とコラボした年末の紅白歌合戦と2度NHKホールの舞台上に立った現在3年生の二人に話を聞いてみた。一人は「音楽をやりたい」ということで幼少時に入隊。もう一人は北上ミュージズコーラス隊指導者でもある中野美由紀先生に黒沢尻北小で合唱指導を受けたが、進学した中学に合唱部がなかったため入隊。「コーラス隊のみんなと定期公演などに向けた歌やダンスの練習を悔いの残らないように頑張りたい。紅白歌合戦の舞台(NHKホール)はNコンでも経験していたが、広くて奥行きもあり緑のペンライトがまぶしかった。皆がなかなか経験できない大舞台を経験できて本当に楽しかった」と語ってくれた。

子どもたちの頑張りを見ていると応援したくなる

北上ミュージズコーラス隊副会長の宇津志さんは言う。「Nコンも紅白出演も今まで経験がなかったので大変でした。何をやったらいいのか判らないけどやるしかないで常に走りながら考えていました。北上の市民性なのが保護者も協力的。子どもたちにとって熱中するものがあることはありがたいこと、子どもたちの頑張りを見ていると応援したくなります。ご指導の中野美由紀先生は黒沢尻北小で地域の児童を全国上位に導く素晴らしい方。長いNコンの歴史でも小学校・中学校の二部門で金賞を受賞した指導者は中野先生だけです」。

子どもたちが熱中して頑張る、その活動を支える父母会、良い指導者と、恵まれた環境の中でこれからもいいニュースが聞けそうだ。



岩手県地域婦人大会北上大会



紅白で歌うミュージズコーラス隊

専修大学北上高校女子サッカー部 今年のチーム目標 「東北チャンピオン」、全国大会ベスト4

新しく完成したサッカー専用人芝のグラウンドで女子サッカー部員35名は授業終了後16時から基礎練習に励んでいた。

昨年暮れから、正月にかけ、神戸で行われた「第33回全日本高等学校女子サッカー-選手権」において初戦を勝ち抜き、2回戦で第1シードの常葉大橋高を破り3回戦に進出。対戦相手は東北の雄、常盤木学園。残念ながら敗れベスト16にとどまった。今大会において2勝を挙げたことは岩手県勢初の快挙。また男子の第103回全国高校サッカー選手権大会とアベック出場になり北上市長は女子大会へ、副市長は男子大会の応援に参加したとのこと。

岩手県内において女子サッカー部のある高校は多くはないがそんな中で夏の高校総合体育大会で県内11連覇、全日本高校女子サッカー選手権12連覇中で県内では敵なし状態で、今では県内の女子サッカーの「よりどころ」的存在となっている。部員35名の中で北上出身者は10名以下で県内だけではなく県外からのサッカーをしたくて入学してくる生徒も多い。キャプテンの星川優香さんも山形県鶴岡出身。兄のサッカーに同行しているうちにサッカーを始めた。クラブの先輩に紹介され、専北を知り入学した。山形の同じチームだった子と東北リーグで戦うこともあるという。将来の夢はサッカーではなく理学療法士になることという。

「岩手の女子サッカーを変える」ことが目標

監督の佐藤徳信さんは花巻市出身。小学生でサッカーをはじめジュニアユース時代には岩手県選抜に。高校時代は全国大会に出場。トレーナーを目指して茨城大に進学したがサッカーに携わりたい思いが強く筑波大大学院でコーチングを研究。他県高校やグルージャ盛岡などのコーチを経験し2014年に専北に着任。「岩手の女子サッカーを変える」を目標に岩手から全国大会に出場できる、全国で勝ち上がる、なでしこ代表になれる、岩手から本気でサッカーで「夢を見る」環境を作りたいという思いで日々指導に当たっている。

コーチの吉武きららさんは北上市出身で専北OG。専北時代、冬の選手権大会で「全国大会初勝利」を成し遂げたチームメイトの一人。高校時代から将来の目標は「教員になってサッカーの指導すること」から大学時代は保健体育の教員免許を取得し、2023年から女子サッカー部のコーチとして母校に戻り指導している。佐藤監督の教え子でもある。

残念ながら高校総体は東北大会準決勝で敗退し代表にはなれなかったが選手権大会はこれから。自分焚きの目標に向かって楽しんでください。そしてうれしいニュースを期待しています。



専大北上高校女子サッカー部



センターリング